

5. 水道耐震化推進プロジェクト

水道施設や管路の更新・耐震化を進めていくには、水道を取り巻く多様な関係者に水道耐震化の重要性・必要性を理解してもらうことが重要である。水道界全体が連携して戦略的・効果的な広報活動を行うことを目的として、昨年11月に、厚生労働省水道課、日本水道協会、日本水道工業団体連合会などの水道関係団体で「水道耐震化推進プロジェクト」を設立し、平成26年度までの活動を行うこととしている。

平成25年度は、「水道PRキャンペーンWG」「阻害要因・リソース分析WG」の2つのWGを立ち上げ具体的な活動を開始した。水道PRキャンペーンWGでは「レッツ！水道健診」キャンペーンを試験的に実施し、静岡県をモデルとしてTVコマーシャル等の広報効果を検証している。また、「水道ポータルサイト」を立ち上げ、更新・耐震化を中心とした広報事例を収集・整理しており、ツール・素材等を共有化することで、最終的には中小規模事業者でも容易に広報が行える支援ツールを目指している。

今後、事例・支援ツールを水道事業者提供しながら、意見・提案を基に改善を継続していく予定であるので、水道事業者においては、なるべく積極的な活用と改善提案をお願いしたい。また、水道耐震化推進プロジェクトの活用しながら、引き続き耐震化を推進していただくことで、水道界一丸となって耐震化の推進をお願いしたい。